

お便りください

このコーナーは、皆さんの意見や地域の問題をお届けしています。
広報広聴課 ☎55-2700へご連絡ください。

市長への 手紙から

市立中央病院小児科の授乳スペースの改善を

市立中央病院の施設について、富士見台にお住まいの勝又かおりさんからお手紙をいただきましたので紹介します。



又かおりさん、
勝又ひろくん（右）、
勝又大也くん（左）
（富士見台2丁目）

「市長への手紙」から

市立中央病院小児科に子どもを受診させて感じたことですが、人目を気にせずに母乳をあげられるスペースがもう少し広くほしいと感じました。今の場所は、すき間のあるつい立てしかなかく、しかも通路にあり、ほかの人が授乳スペースの前を通っているのに驚きました。デパートなどにあるようなベビールームが必要だと思えます。

また、時にはミルクや離乳食などを子どもにあげるためにお湯も必要になります。お湯も利用できるようにしてほしいと思います。

【市長からの回答】

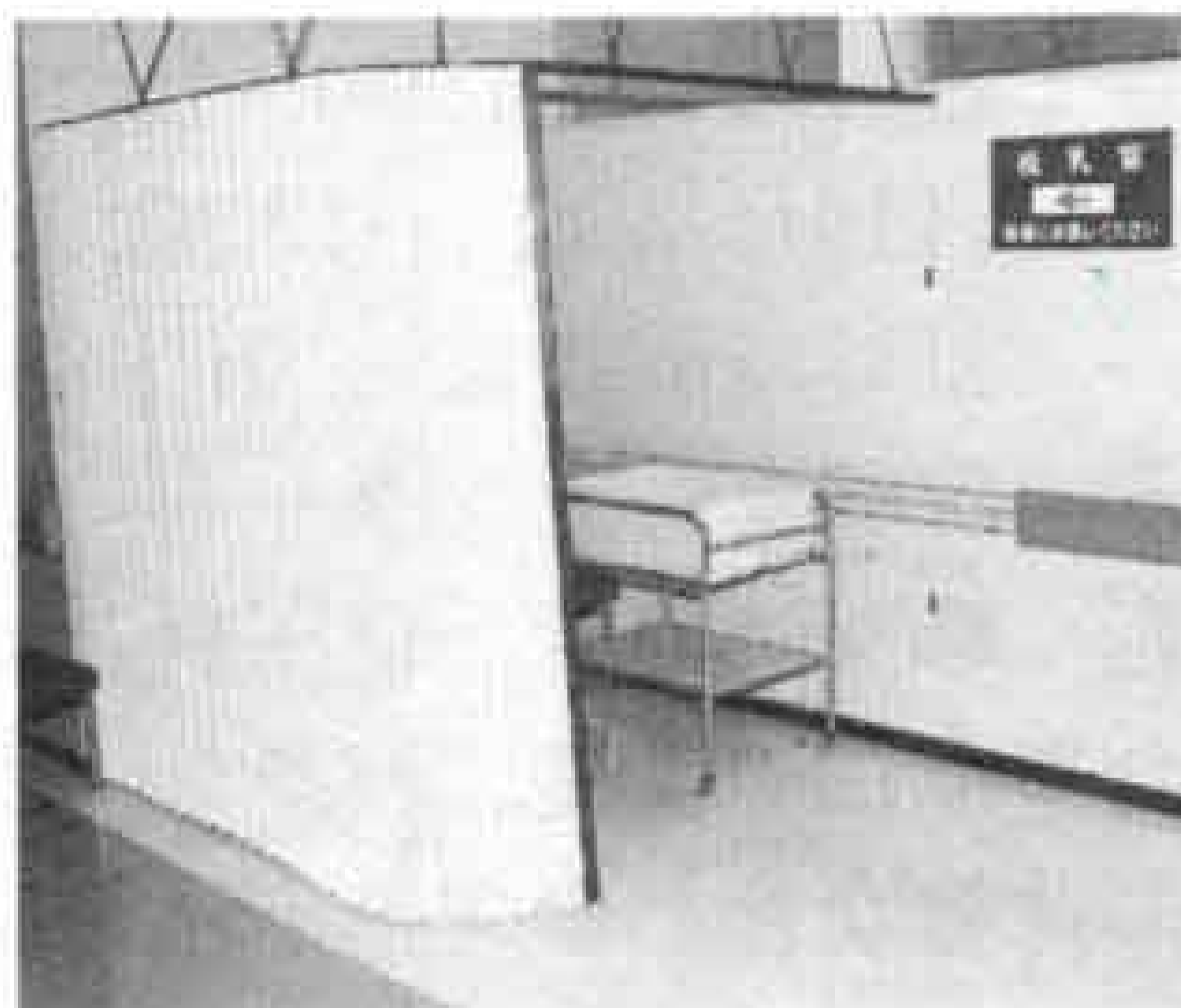
ご提言ありがとうございます。お手紙にありました授乳スペースについてですが、これまで病棟への通路の一角を皆さんに利用していただいています。今回のご意見をもとに現状

を調査した結果、小児科の待合スペースの一角を仕切り、授乳室として利用していただけるよう改善しました。

また、お湯の利用については、現在、湯沸かし器はお子様の事故防止のため、利用できないようにしてあります。小児科外来では、いつでもお湯をご利用いただけますよう用意していますので、必要な場合には、お近くの看護婦までお申しつけください。

問い合わせ 中央病院総務課

☎五二一—一三二



▲小児科前の一角に設置した授乳室

ベトナムでマングローブを植林

ズームアップ

ふじ



奉仕活動、環境保全活動など

さまざまな活動に取り組んでいるガールスカウト富士地区協議会では、七月二十五日～三十日にベトナムで海外研修を行いました。同協議会が所属するガールスカウト県支部では、これまでにNGO（非政府組織）の「ACTMANG（アクトマン・マングローブ植林行動計画）」のメンバーを招いて研修会を開催するなど、活動の一環として地球環境問題に注目。五十周年事業として平成十年から三年間、ベトナムへ研修団を派遣し、ベトナム戦争で荒廃した森林の再生を目指し、マングローブの植



▲ベトナムの高校生と一緒にマングローブの種子を植え込む

林などを行ってきました。この研修の成果を受け継ぎ、ことし同協議会では独自にベトナムでの研修を企画。高校生の団員十人、指導員・役員五人の計十五人が参加し、マングローブの種子の採取と植林の実践活動に取り組んだほか、地元高校生との交流、ベトナム戦争ゆかりの地を訪ねました。



▲研修に参加した皆さん

代表の青司美枝子さん（中央町三）は、「地球環境や身近な環境について目を向ける有意義な機会となりました。湿地帯での移動では腰まで泥につかることもあった。失った森を再生することの大変さを実感し、戦争の悲惨さを思い知りました」と話してくれました。